

西宮市議会議員

# たかの しん

政党無所属 × 最年少・31才

- ◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆元・阪急不動産（株）/ 阪急阪神不動産（株）勤務

f たかの しん    t takanostyle    i takanostyle  
https://takanoshin.jp    たかのしん



## ◆介護予防のメニューを充実させるべきです！

話す相手がいる。出かける場所がある。鍵を握るのは「社会とつながる」機会の確保です。

### ■介護予防の必要性が高まっています。

本市の要支援・要介護認定者数は、昨年9月時点で2万2千人以上にのぼり、今後はさらなる増加が見込まれます。高齢化が進む中、多くの方が「年齢を重ねても自分らしく生活したい」と願っており、健康の維持・向上は非常に重要です。また、介護保険の給付費が大幅に増加している点も見逃せません。財政状況が悪化すれば、十分なサービスを提供することは難しくなります。こうした状況から私は介護予防事業の強化が必要と考えます。

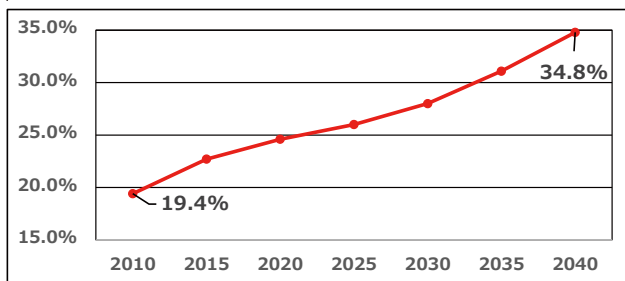
### ■多様なメニューの導入を！

介護予防において最も重要なのは社会参加の機会を確保することです。日常的に出かけていく場があることや、そこで体を動かしたりコミュニケーションをとったりすることは、心身の健康に繋がります。そうした観点から本市では「西宮いきいき体操」や地域交流拠点等が運営されています。一方でそうした場に足を運ばない方も多く、それぞれの関心事やニーズに応えられる多彩なメニューが必要です。他市では、先進的な施策として

- 介護保険事業の一環として、健康に関する教室やサロンを実施（奈良県生駒市）
- 民間企業に委託して、様々な趣味の集いやイベントを企画（大阪府堺市）
- 大学・NPO等と連携して、多様な介護予防プログラムを提供（愛知県瀬戸市）

等が進められています。これらの事例を参考に本市も介護予防メニューの多角化を進めるべきです。また、介護予防には複数の部署が関わっているため、市役所特有の「縦割り」を防ぐ一元的な推進体制の構築も重要です。

#### ◇高齢化率（65歳以上）の推移



※第5次西宮市総合計画より、2020年以降は推計値

#### ◇介護保険特別会計の決算額

年度	2015	2016	2017	2018	2019
歳出額（億円）	282	291	309	317	337

### ■PROFILE / 鷹野 伸（たかの しん）

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在1期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。

# ◆子どもたちの学びを支援するために。

経済的負担の軽減は、子どもたちが安心して学べる環境の実現につながります。

## ■生活・学習支援事業の拡充を！

子育て世帯にとって、子どもの進学は大きな支出が発生する時期です。入学金・授業料等の学校へ納める費用だけでなく、受験勉強に伴う塾や予備校の費用も大きな負担となっています。私は「保護者の経済的な格差が子どもの教育格差につながってはならない」と考えています。本市では一定の条件を満たす場合に「子供の生活・学習支援事業」への参加が可能ですが、対象は中学3年生に限定されています。学習習慣の定着や基礎学力の習得には、できる限り早い時期から取り組むことが望ましく、対象学年の引き下げが求められます。また、小学生や高校生を対象とした事業の創設も急ぐべきです。

## ■注目を集める「教育バウチャー」

進学期の経済的負担の軽減は、生活困窮世帯だけでなく、子育て世帯全体にとっての課題です。子どもたちの学習を積極的に支援する

ことは、学力の向上にも寄与します。例えば大阪府は中学生対象の塾代助成事業を実施しており、高い評価を得ています。※ 学校での受験指導を強化することも必要ですが、多くの子どもが塾に通っている現状をふまれば有効な施策の一つと考えられます。こうしたバウチャー制（特定の目的にのみ利用できるクーポンの支給）は、あらゆる教育・子育て支援への活用が期待される手法であり、本市でも積極的に導入を検討すべきです。

※月額上限1万円の塾代助成カードを塾や習い事の支払いに利用できる制度。利用者からは「新たに通塾できた／冬期講習等に参加した」「成績が良くなった」等の声が多く上がっている。

## ■財源の捻出に取り組むべきです！

こうした施策を実現するには、多額の財源が欠かせません。だからこそ、私は行政改革の必要性を訴え続けています。市役所業務の効率化・ICTの活用・公共施設のマネジメント・事業の抜本的な見直し等、今後も財源の確保に向けた具体的な提案を行ってまいります。

## 来年4月に開始する「指定ごみ袋」のデザインが決定しました！



本市では来年4月に生活系ごみの指定袋制度がスタートします。ごみを出す際に指定された袋を使用する制度であり、分別排出や再資源化を促すことが期待されます。この度、指定袋のデザインが一般公募により決定。本年末頃からスーパー等の店舗にて販売される予定です。

《制度の詳細は市HPでご確認いただけます》  
[https://www.nishi.or.jp/hayabikiindex/gomi/gomiguido/siteihukuro\\_suta-to.html](https://www.nishi.or.jp/hayabikiindex/gomi/gomiguido/siteihukuro_suta-to.html)



## ワクチン接種事業について、市議会から要望書を提出しました！

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が全国的に進められています。接種事業の開始当初、本市では予約の受付体制や情報発信に複数の課題があり、市民の皆様や医療機関に多大なご迷惑をおかけする結果となりました。そうした状況をふまえ、市議会では市当局に対し「西宮市議会からの意見要望」を提出。  
●進捗状況の公開 ●計画の全体像の提示 ●協議・決定内容の広報 ●正確な情報提供 等を求めました。今後も接種事業の展開を注視するとともに、必要な提言を続けてまいります。

《西宮市新型コロナワクチン接種コールセンター》

TEL / 0 1 2 0 - 6 2 2 - 9 9 9 受付時間 / 9 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0 (土日祝含む)

※記載の内容は原稿作成時点の情報であり実際とは異なる場合があります。最新情報は市HP等にてご確認ください。

